

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|-----------------|-------------|------|-----------------------|------------------------------|-------|------|----|---------|---|
| 科目名 | 在宅看護学概論 Principles of In-Home Nursing | | 担当教員 (研究室番号) | 六角 僚子 (405) | | 教員への連絡方法 (メールアドレス) | 六角 : ryoko.rokkaku@mcn.ac.jp | | | | | |
| 履修年次 | 2年次前期 | 科目区分 | 専門科目・広域看護学 | | 選択区分 | 必修 | 単位数(時間) | 1(15) | 授業形態 | 講義 | 科目等履修生 | 否 |
| | | | | | | | | | | | オープンクラス | 否 |
| 科目目的 | 在宅看護を必要とする背景を捉えながら、在宅看護実践の手段としての訪問看護の目的や特性について学ぶ。また、在宅看護展開に必要な家族支援に関連する理論や法制度、関係職種との連携について学ぶ。 | | | | | | | | | | | |
| ディプロマ・ポリシー(DP) | 主要なDP | B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解) | | | | | | | | | | |
| | 関連するDP | E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するためのコミュニケーション能力を身につけている。(知識・理解) | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護を必要とする背景が理解できる。 2. 訪問看護の対象の特徴および訪問看護に関する制度が説明できる。 3. 在宅看護における倫理的課題および倫理的判断の考え方が理解できる。 4. 療養者を取り巻く環境(家族、制度など)を踏まえた看護職の役割が理解できる。 | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法(基準) | 100点満点(小テスト24点、課題レポート32点、ルーブリック評価20点、授業参加状況・グループワーク参加度24点)からの減点方式とし、ポートフォリオにより総合的に評価する。授業の2/3の出席をもって評価の対象とする。遅刻3回をもって欠席1回とみなす。出席把握は、授業開始時に実施する小テストにて行う。 | | | | | | | | | | | |
| 再試験の有無と基準等 | 科目の可否結果で不合格となった者には、当該学生からの申請があれば面談を実施する。再試験はない。 | | | | | | | | | | | |
| 教科書 | 臺 有桂 編集 地域療養を支えるケア MCメディカ出版 | | | | | | | | | | | |
| 参考書等 | 六角 僚子 アセスメントからはじまる高齢者ケア 医学書院 | | | | | | | | | | | |
| 学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待 | 必ず事前学習課題に取り組み、レポートを提出する。授業前に確認テストを受け、不足だったところを授業中に確認をする。 | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | |

| 回 | 学習項目 | 学習内容 | 主担当教員 | 授業方法 |
|----|--|--|-------|----------|
| 1回 | 在宅看護学の学修オリエンテーション 在宅看護を必要とする背景および在宅看護の目的と特性 | オリエンテーション 在宅看護の概念 1. 地域療養を支える看護 2. 日本の在宅看護の歴史と現状 3. 在宅ケアにおける看護の特徴 4. 在宅看護の倫理 ○事前課題：在宅看護の変遷を表にまとめる。 | 六角他 | 講義 演習 |
| 2回 | 在宅看護の対象者の特徴 | 在宅看護の対象者はいずれの発達段階にあり、疾患もさまざまである ○事前課題：在宅療養を必要とする人たちについてレポートを作成する。 | 六角他 | 講義 |
| 3回 | 訪問看護に関係する制度および法律 | 在宅ケアを支える制度と社会資源 1. 医療保険制度 2. 在宅療養者を支える制度 ○事前課題：医療保険制度および介護保険制度の概要についてレポートを作成する。 | 六角他 | 講義 演習 |
| 4回 | 多職種との連携と協働 | 病院から在宅への移行期の退院支援について学ぶ。また、療養者や家族を支援するための多職種連携について学ぶ ○事前課題：療養者や家族を支える多職種について表にまとめる。 | 六角他 | 講義 演習 |
| 5回 | 在宅療養者の意思と権利① 在宅看護における倫理的課題 | 成年後見制度、高齢者虐待防止などの在宅看護における倫理的課題について理解し、権利擁護の具体的視点について学ぶ 1. 個人情報の保護 2. 個人情報等の情報開示 3. 成年後見制度 4. 虐待 ○事前課題：高齢者虐待に関する新聞記事やニュースを探し、自身の意見をレポートにまとめる。 | 六角他 | 講義 演習 |
| 6回 | 在宅療養者の意思と権利② 意思決定への支援 | 対象者の意思尊重の重要性や療養者とその家族の「意思決定」への支援方法を学ぶ。 1. 個人の尊厳 2. 自己決定権 ○事前課題：療養者が抱える意思決定とはどのような種類があるかレポートにまとめる。 | 六角他 | 講義 演習 |
| 7回 | 家族介護者の理解と健康支援① 要介護者を抱えている家族の理解 | 看護における家族・対象者を理解する 1. 家族の変遷 2. 現代家族の特徴 3. 家族看護とは何か ○事前課題：教科書を参考に家族の定義をレポートにまとめる。 | 日比野 | 講義 |
| 8回 | 家族介護者の理解と健康支援② 家族システム論等 | 療養者や家族を理解する手立てとしての一方法である家族システム理論や家族発達段階論についてペーパー事例や演習(ジェノグラム作成)を通して学ぶ。 1. 患者と家族が共に生きる支援とは 2. 家族の受け止めへの支援とは ○事前課題：家族発達理論・家族システム理論・カルガリー型家族アセスメントモデル/介入モデルについてレポートにまとめる。 ○ルーブリック自己評価記載 | 六角他 | 講義 演習 |

学 習 課 題

第1回～第8回課題(事前)：学習項目の教科書該当頁等を参考に、レポートを作成する。事前課題は、講義中使用することもあるため、終了後提出とする。
また、毎回講義前に小テストを行う。
準備するもの：紙フラットファイル(A4縦、2穴)、インデックスシール(単元の見出しをつけるためのもの)
配布資料のファイリング方法：講義で配布する資料、課題、事例と記録用紙一式、小テスト、自己学習した資料等をファイリングして、学習成果を効果的に整理すること。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。